

地方大学・地域産業創生交付金（徳島県）〈計画期間：H30年度～R9年度（R5年度より展開枠）〉 （「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」）

概要

- 世界有数のLEDメーカーをはじめLED関連企業が多数集積する強みを活かし、「次世代の光」をテーマとした魅力ある大学づくりと、光関連産業の振興に取り組むことで若者が集う徳島を実現。
- 徳島大学は、「ポストLEDフォトンクス研究所（pLED）」を設置し、次世代光研究の強化・充実及び医学分野等とのシームレスな連携を目指す。また、徳島大学と阿南高専において、新規技術の地域定着に向け、県内企業等を含めた人材育成／技術力を強化。
- 県内企業が、次世代光技術を各社の製品・技術に活用、光関連産業の振興と雇用創出に寄与。

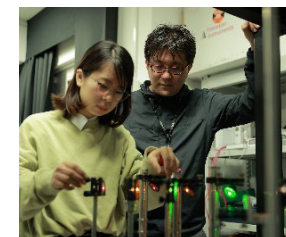


徳島大学（pLED）

これまでの成果

（大学）

- 従来より100倍以上高速かつ高感度に検出可能な光バイオセンサーチップを世界で初めて開発。
→(株)島津製作所と徳島大学が締結した包括連携契約の一環として、特定の化合物を超高感度に検出できる小型センサの製品化検討及び共同研究体制の構築に発展。
- pLEDは獲得した外部資金を運営費等に充当。（外部資金：約0.8億円(H30)→約2.1億円(R6)）
- R5年度には企業への技術移転を促進する「次世代光インキュベーション機構」を創設。これまで生み出した研究成果による事業化フレームワークの実施と、新たなシーズ掘り起こしや研究交流拡大を目指した異分野連携を促進。また地域人材の育成のため、pLED教員と工業技術センター研究員の相互派遣を実施。
- 本事業で設置した専門人材育成プログラム受講生の地元就職数が増加。
（地元就職数：11名(H30)→22名(R6)）



pLEDにおける研究の様子

（高専）

- レーザー微細加工機を独自開発するとともに、県内9企業14件の光関連製品開発を支援。
- 企業技術者向け光関連商品開発支援講座を実施（受講者数：62名）、県内光関連企業と連携した学生向けの人材育成を実施（受講者数：28名）、徳島大学への卒研生派遣を実施（5名）。

（産業）

- コロナ禍の社会要請に応え、県内企業が本事業の成果である「深紫外LED」を活用し、商品化。
- 赤外光を活用した「包装不良検査」、「インフラ非破壊検査」を県内企業が実証中。
- 参画企業が徳島大学に社会人ドクターとして社員2名を派遣し、関連テーマの技術を習得中。



「深紫外LED」を活用した商品化例
（左上）パーテーション
（右上）ドアノブ自動殺菌装置
（下）空気清浄機

事業責任者：板東 安彦（公益財団法人とくしま産業振興機構理事長）

主な参画機関：（官）徳島県、（学）徳島大学・阿南工業高等専門学校、（産）大塚グループ・日本フネン(株) 他

<令和7年9月時点>